

アシックスのご紹介

株式会社アシックス 財務部長 辻上和也



OneASICS会員
新規登録はこちらから



個人投資家向けメール配信
ご登録はこちらから



株式会社アシックス 財務部長 辻上 和也

大学を卒業後、金融機関に入社。

法人営業、外部出向、海外駐在などを経てIT企業に転職。

為替リスクヘッジ、グローバルキャッシュマネジメント、

グループ再編などに従事しつつ多用な手法での大型資金調達案件を担当。

2023年1月にアシックスに入社。

資本政策や財務戦略の企画・立案、案件執行、資本市場への説明を一貫して担当。

趣味はランニング（月100km〜）。



INDEX

1. 会社概要

2. アシックスの業績と株価について

3. 個人投資家の皆様へ

INDEX

1. 会社概要

2. アシックスの業績と株価について

3. 個人投資家の皆様へ

創業哲学、沿革

創業哲学

古代ローマの風刺作家ユベナリスの名句

「健全な身体に健全な精神があれかし」

Anima Sana In Corpore Sano
"Sound Mind, Sound Body"

神戸で創業

1949

1950

最初のバスケットボール
シューズ発売靴底を吸盤のように凹型にする
ことで、グリップ性を格段に向上

1977

商号を(株)アシックスに変更し、
(株)ジティオ、ジェレンク(株)と合併※シューズ、ウェア、用具の全てを供給する
総合スポーツ用品メーカーに

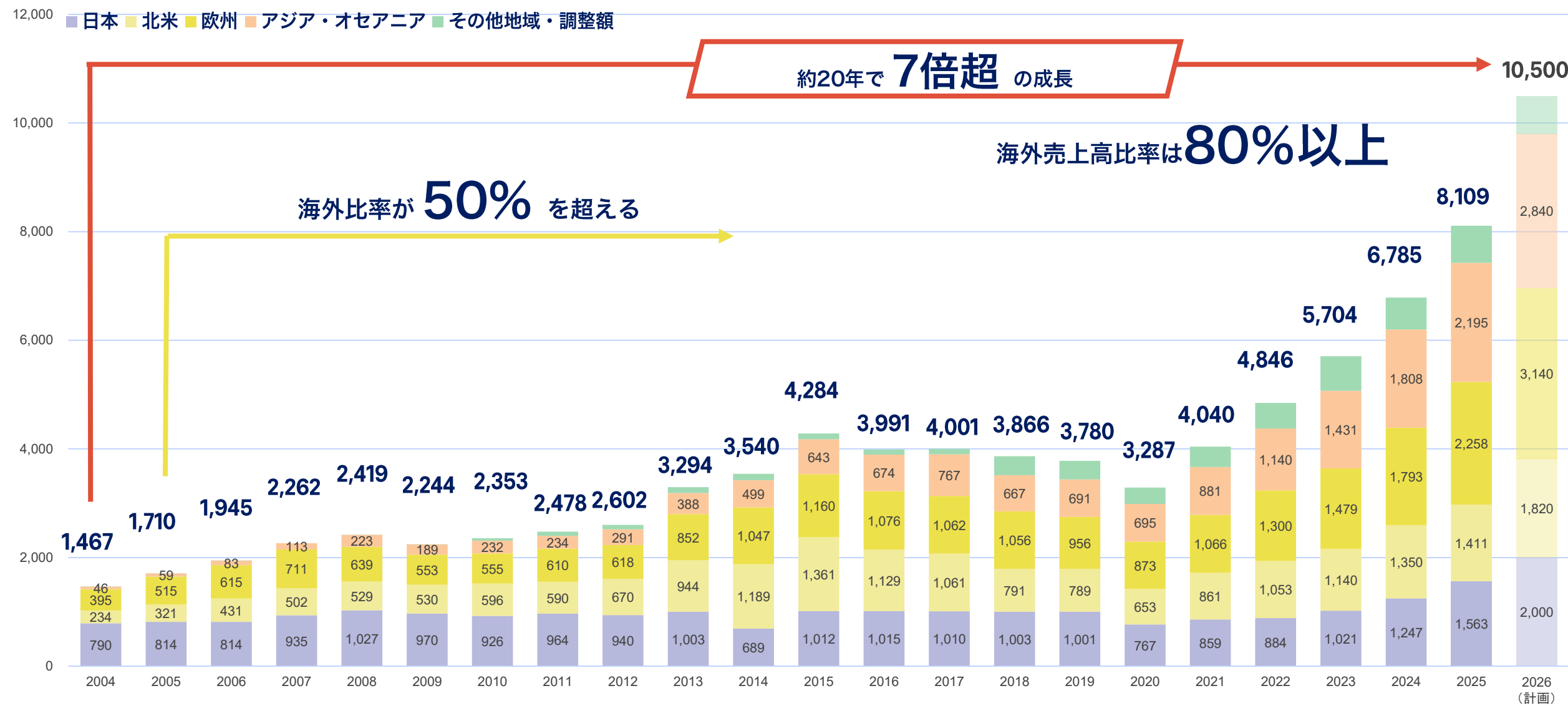
1990

神戸市西区にスポーツ
工学研究所竣工陸上トラックや体育館などを備え、
科学的な実証に基づく製品開発体制を確立

2000年代

2019

カテゴリー基軸の
経営管理体制が
スタートグローバルでの
ランニング事業に注力し、
海外売上高拡大



| カテゴリー別売上高

その他（ウォーキング等）



オニツカタイガー



ラグジュアリー
ライフスタイルブランド

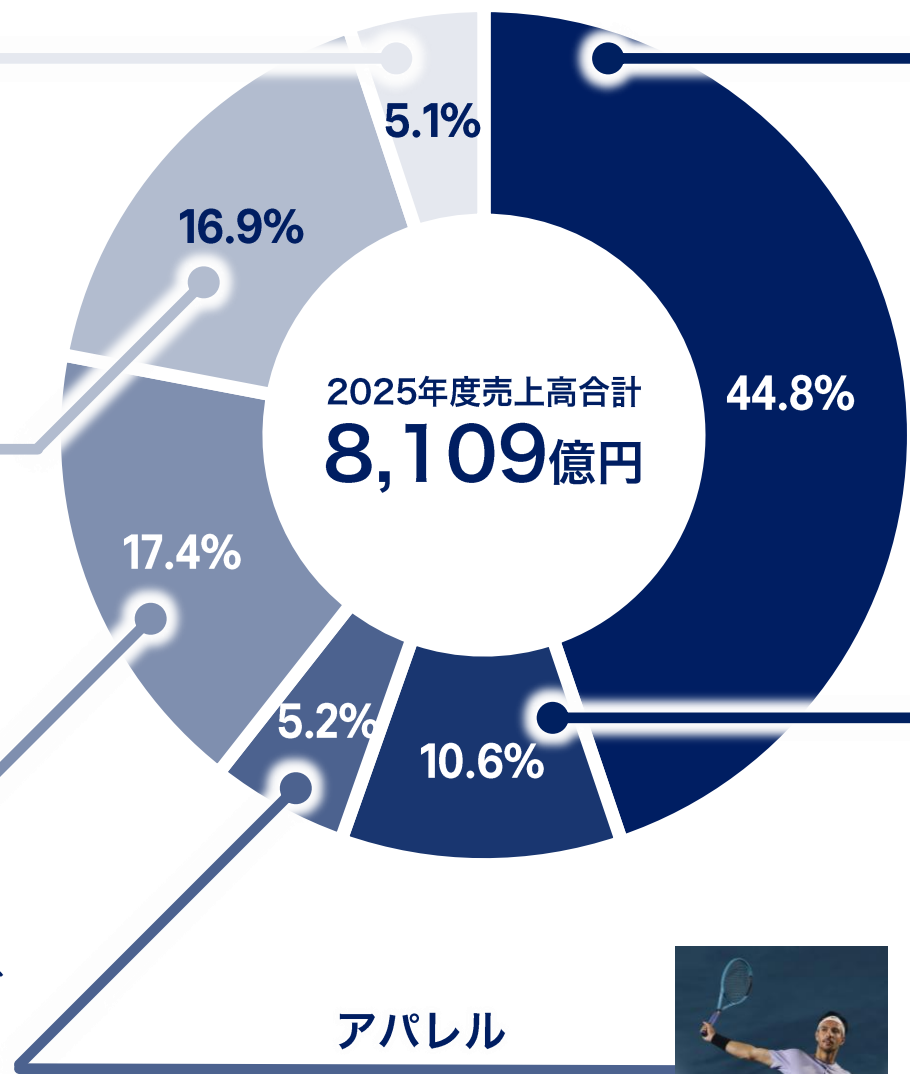
売上 **1,365**億円
前年比 **+43.0%**

スポーツスタイル



スポーツテクノロジーを
洗練されたスタイルに昇華させた、
ライフスタイル向けの
シューズやアパレル

売上 **1,413**億円
前年比 **+43.6%**



パフォーマンスランニング

さまざまなランニングシーン
に適したシューズ

売上 **3,635**億円
前年比 **+11.2%**



コアパフォーマンススポーツ

テニス、バレーボール、サッカー、バスケットボールなど

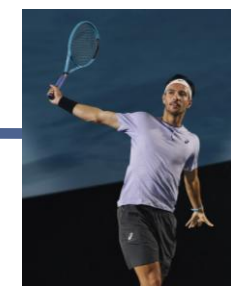
優れた機能性を備えた、
競技スポーツ用のシューズ

売上 **860**億円
前年比 **+9.4%**



スポーツウエア

売上 **420**億円
前年比 **+10.5%**



アパレル

パフォーマンスランニング (P.RUN) プロダクトポートフォリオ

- 日々のジョギングからフルマラソンまで、用途・走力・走法に合わせた細かいラインナップで構成。
- 豊富な足型データに基づく機能性が強み。トップアスリートから市民ランナーまで幅広くカバー。
- 高付加価値商品へのシフトを進め、プレミアムブランドとしてのポジショニングを強化。

STABILITY

安定感のあるサポート



GEL-KAYANO 33



GT-2000 15



GT-1000 15

CUSHION

やわらかなクッション性



GEL-NIMBUS 28



GEL-CUMULUS 28



GEL-PULSE 17

BOUNCE

沈んで弾む反発性



MEGABLAST



SUPERBLAST 3



SONICBLAST



NOVABLAST 6

SPEED

スピード重視の設計



METASPEED RAY



METASPEED TOKYO



YOGIRI SPEED



MAGIC SPEED 5

TRAIL

強力なグリップ性



METAFUJI TRAIL 2



TRABUCO MAX 5

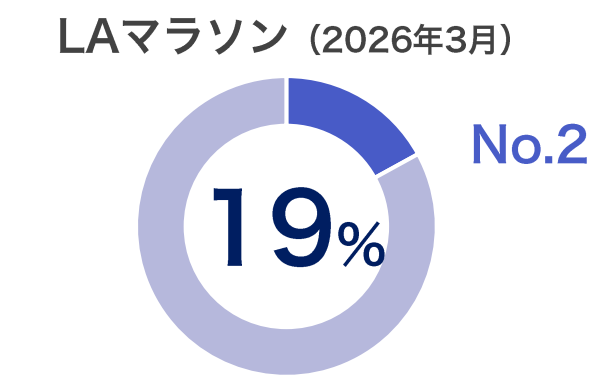
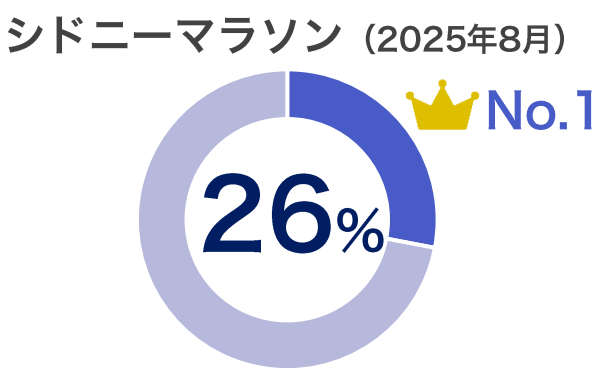
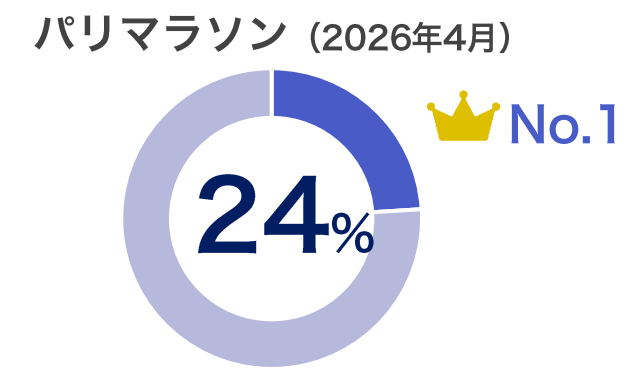
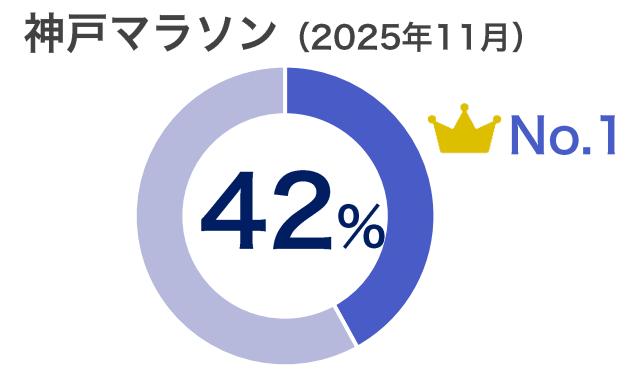
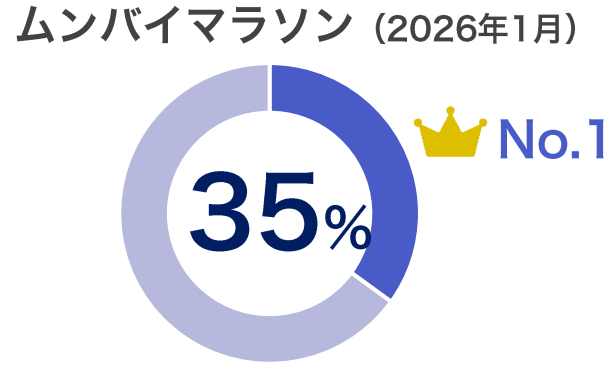
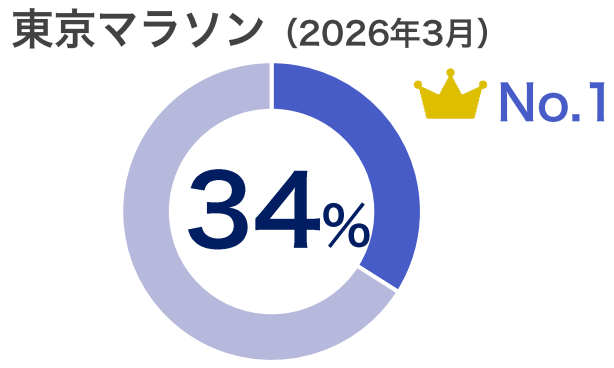


TRABUCO 14

マラソン大会におけるシェア



©東京マラソン財団



コアパフォーマンススポーツ (CPS)

- 競技人口、競技がブランドに与える影響、グローバルで展開の可能性、利益面など様々な切り口で、CPSカテゴリーヒエラルキーを作成
- テニスを核に、パデルとピククルボールへ価値・技術・ブランドを拡張.

Global

Global Lead Category



テニス

Global Growth Category



バレーボール／インドアスポーツ

Regional Focus Categories					
日本	米国	欧州	中華圏	オセアニア	東南アジア
					
					
サッカー バスケット ボール	レスリング	ハンドボール パデル	サッカー バスケット ボール	フットボール ネットボール	バドミントン

グレーターテニス*戦略

テニスを核に、パデルとピククルボールへ価値・技術・ブランドを拡張する成長戦略

*「グレーターテニス」とは、テニスを中心に培った技術・知見・ブランド価値を、パデルやピククルボールなど周辺ラケットスポーツへ横展開し、カテゴリー全体の成長を創出するための包括的な戦略概念

テニス



ピククルボール



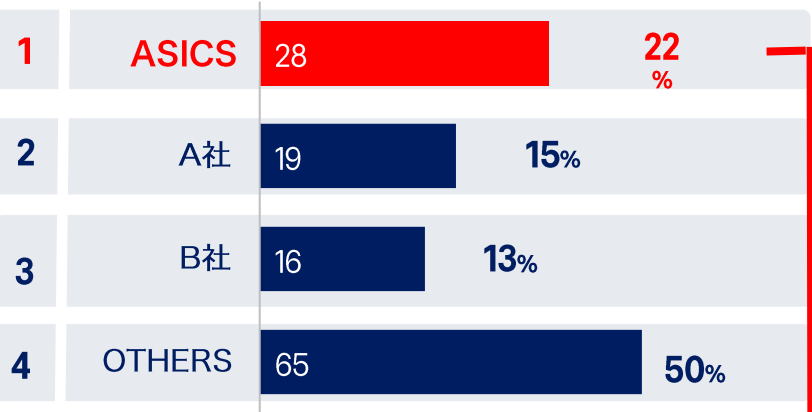
パデル



テニスの主要大会におけるシェア

- アシックスのテニスシューズはトップアスリートからも支持されている。

アメリカ (2025 8月～9月)



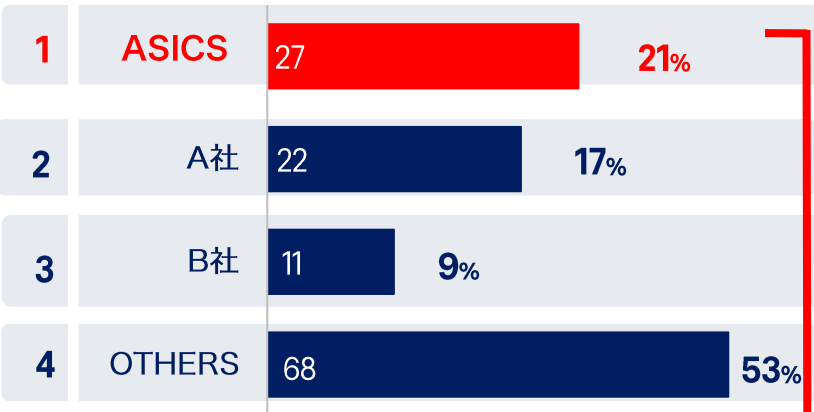
17
28
128

アシックスシューズ
着用の契約外選手

アシックスシューズ着用選手

大会参加者 (男子)

イギリス (2026 6月～7月)



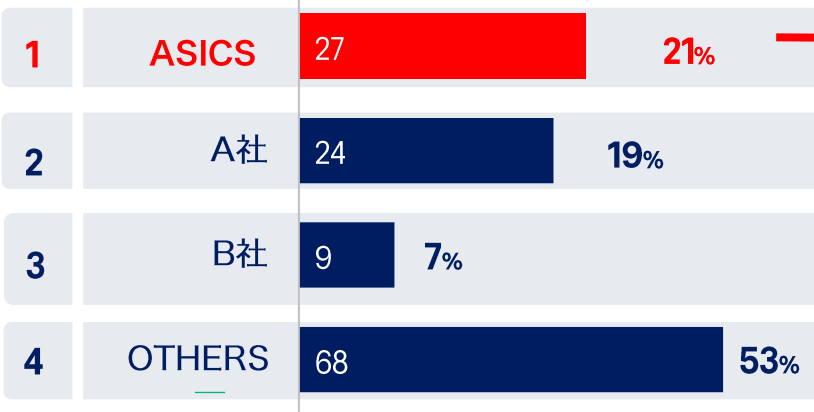
14
27
128

アシックスシューズ
着用の契約外選手

アシックスシューズ着用選手

大会参加者 (男子)

フランス (2026 5月～6月)



11
27
128

アシックスシューズ
着用の契約外選手

アシックスシューズ着用選手

大会参加者 (男子)

* Survey from ASICS
* Top 15 brand selected

* Survey from ASICS - Australian Open 2026 -

* Survey from ASICS - French Open 2026 -

スポーツスタイル (SPS) プロダクトポートフォリオ

VISIBLE TECH

テクノロジーとスタイルの融合



GEL-KINETIC FR



GEL-QUANTUM 360 I AMP

MODERN

アーカイブの再構築



GEL-NYC 2.0



US8-S GEL-SJ33

VINTAGE TECH

2000年代アーカイブ



GEL-KAYANO 14



HYPERSYNC

CLASSICS

90年代アーカイブ



LYTE CLASSIC



SKYHAND OG

SPS APPAREL

SPS世界観の創出



AW26 INLINE COLLECTION

SKATEBOARDING

スケートボードに向き合った
テクノロジーとスタイル



LEGGEREZZA FB



JAPAN PRO MT

コラボレーション・特別仕様商品



ASICS X HIDDEN NY
GEL-KINETIC 2.0



ASICS X KIKO KOSTADINOV
ILARGI FF II



ASICS X LTTT
GEL-RESOLUTION 5



ASICS X MITSUI
GEL-LYTE III 07
Remastered



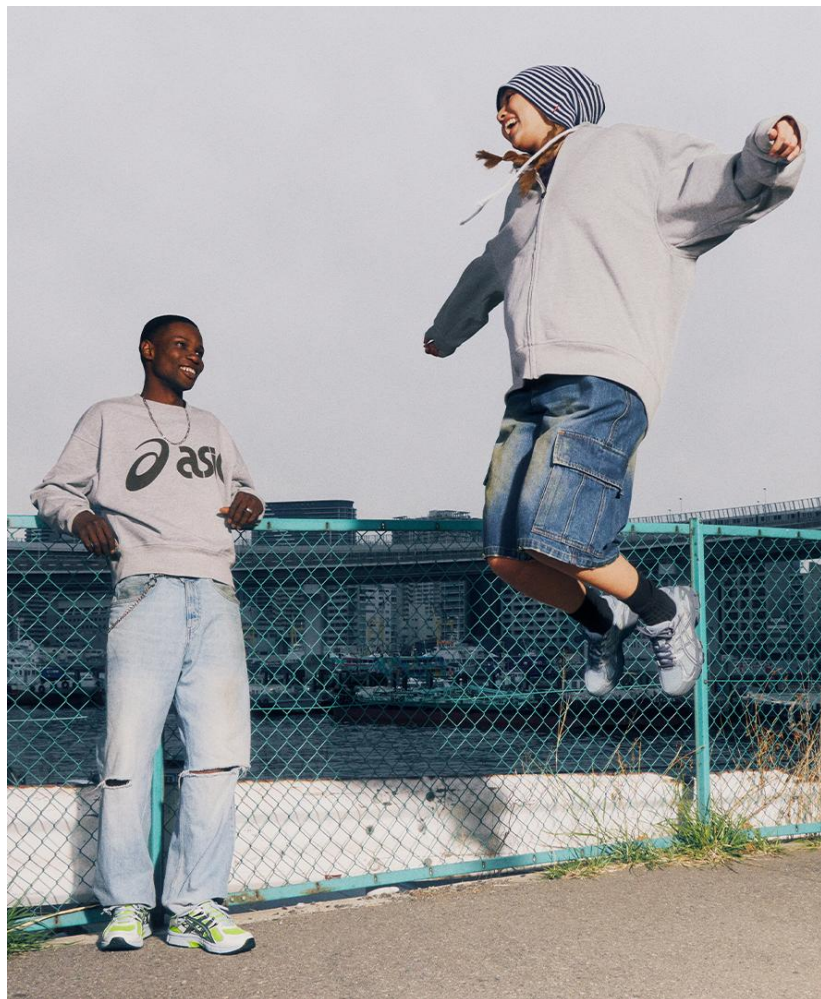
ASICS NOVALIS COLLECTION
Season5



ASICS X LATE NITE STARS
GEL-FLEXKEE PRO 2.0

| スポーツスタイル (SPS) コンセプト

- ASICSならではのスポーツテクノロジーとヘリテージを現代のデザイン・カルチャーで再解釈し、ライフスタイルに展開



スポーツテクノロジー



アーカイブ



GEL-KAYANO 14
(2008年発売)



GEL-KAYANO 14
(現行)

オニツカタイガー (OT)



パリ (フランス)



上海 (中国)



新宿 (日本)

Onitsuka Tiger

**ONITSUKA
TIGER**

ONITSUKA



MEXICO 66



TRAIRINA



MEXICO 66 FRINGE



PLABALA



DERBY



BIT LOAFER

「歩く」ことに着目したウォーキングシューズ

WELLNESS WALKER



アシックスの研究から生まれた
ウォーキングシューズ
「ウエルネスウォーカー」

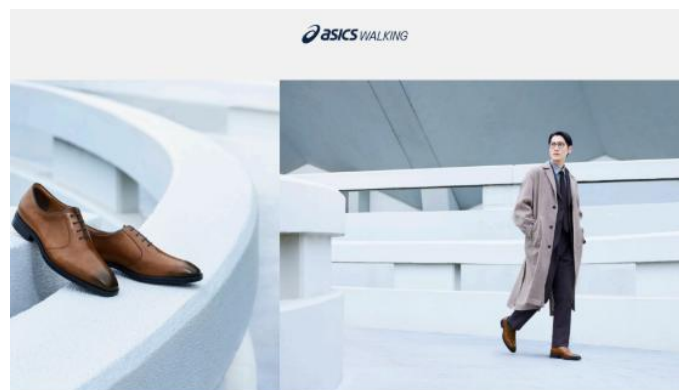


ゲルライドウォーク 2



ゲルファストウォーク

RUNWALK



ビジネスにもっと機動性と快適性を。
走れる革靴「ランウォーク」

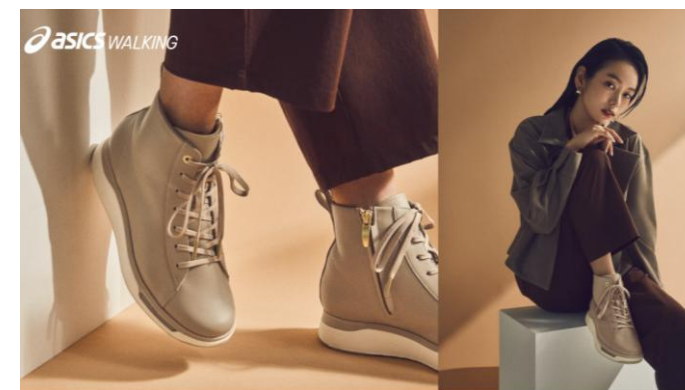


ランウォーク 7LS



ランウォーク
トラッドスニーカー

PEDALA



自分らしく生きるすべての女性に、
機能性と美しさを備えた一足を
「ペダラ」



ペダラ レディース



ペダラ ライトX 2

「歩く」ことに着目したウォーキングシューズ

—ASICS-Walking店舗—



ASICS WALKING帝国ホテルプラザ東京



海外の店舗イメージ

INDEX

1. 会社概要

2. アシックスの業績と株価について

3. 個人投資家の皆様へ

2026年第2四半期決算概要

(単位：億円)	2025年 第2四半期		2026年 第2四半期	増減率	為替影響除く 増減率
売上高	4,027	➡	5,344	+32.7%	+22.0%
営業利益	811	➡	1,204	+48.5%	+37.7%
営業利益率	20.1%	➡	22.5%	+2.4ppt	-
当期純利益	536	➡	821	+53.3%	+38.7%

2026年第2四半期業績のポイント

- ポイント1

全カテゴリー、全地域で増収増益を達成。
第2四半期として売上高が初めて5,000億円を超え、各段階利益も過去最高。
- ポイント2

特に、スポーツスタイルが80%超、オニツカタイガーも30%台半ばの増収。
地域別では、インバウンドが好調なアシックスジャパンのほか、北米、欧州、東南・南アジアを中心に成長。

2026年通期業績の上方修正

(単位：億円)	2026年2月発表		今回発表	対期初計画 増減率	対前年 増減率
売上高	9,500	→	10,500	+10.5%	+29.5%
営業利益	1,710	→	1,950	+14.0%	+36.8%
営業利益率	18.0%	→	18.6%	+0.6ppt	+1.0ppt
当期純利益	1,100	→	1,200	+9.1%	+21.6%

上方修正のポイント

ポイント 1

上期の好調な実績に加え、下期についてもスポーツスタイル及びオニツカタイガーが引き続き好調に推移する見込みであり、売上高及び各段階利益について2026年通期の業績予想を上方修正。

ポイント 2

その結果、売上高は為替影響を除いても1兆円を突破、当期純利益は初の1,000億円超を見込むなど、過去最高業績を更新する見通し。年間配当金についても、前回予想の38円から6円増配の44円に変更。

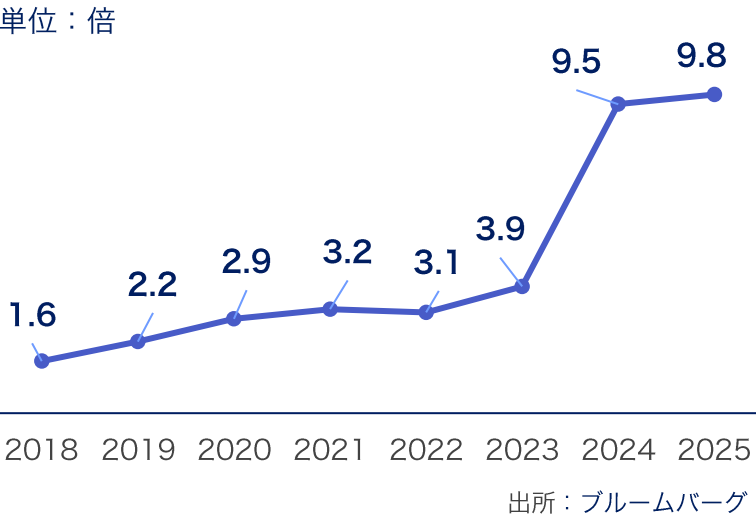
アシックスの株価 (2018年1月1日～2026年8月14日)

2023年8月	時価総額 1兆円突破
2024年5月	MSCI  MCSI Japan Standard指標に採用
7月	時価総額 2兆円突破
8月	 JPX-NIKKEI 400 JPX日経400に採用
	 JPX PRIME 150 JPXプライム150指数に採用
2025年8月	時価総額 3兆円突破



資本効率性等の指標

PBR（株価純資産倍率）推移



PBR

=

株価

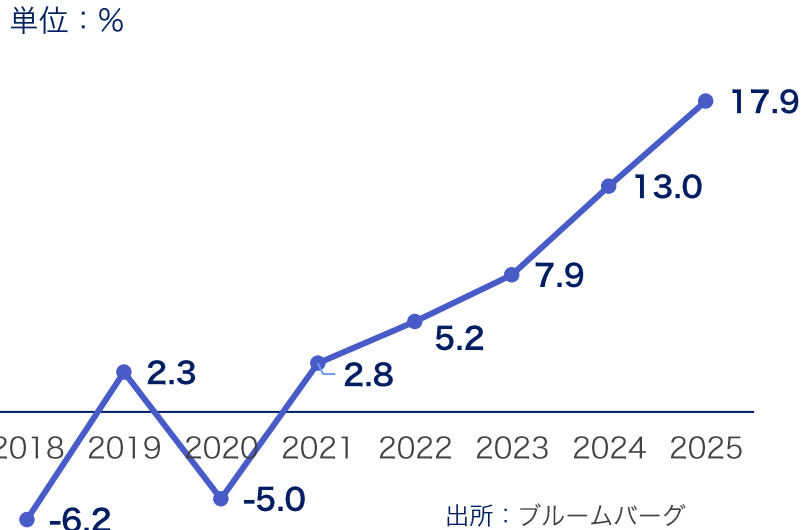
1株当たりの純資産

=

時価総額

純資産

ROA（総資産利益率）推移



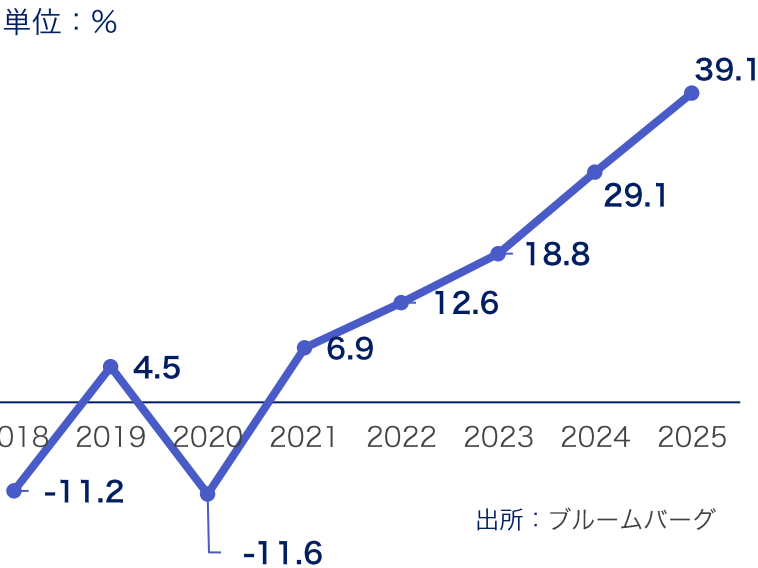
ROA

=

当期純利益

総資産

ROE（自己資本利益率）推移



ROE

=

当期純利益

自己資本

アシックスをカバーするセルサイドアナリスト 目標株価一覧

アナリストレポート	目標株価 (8/25時点)	投資判断
A証券	7,300円	買い
B証券	6,500円	買い
C証券	6,300円	買い
D証券	6,300円	買い
E証券	6,200円	買い
F証券	6,100円	買い
G証券	6,000円	買い
H証券	6,000円	買い
I証券	5,800円	買い
J証券	5,800円	買い



アナリストコメント抜粋

- ・ グローバルでのブランド復権が進み、**構造的な成長フェーズへ**.
- ・ ディスカウントに依存せず、**ブランド価値と利益率を守る経営を評価**.
- ・ P.RUNは競合が在庫調整を進める中でも、
市場環境に過度に巻き込まれない形で運営.
- ・ SPSは複数モデルが成長を牽引。**トレンド変化への耐性が高まっている**.
- ・ OTはグローバルでの拡大余地が大きい。
特に米国再進出は中長期の成長ドライバーとして注目.
- ・ ランニングエコシステム構築、DTC収益拡大、サプライチェーン改革
など、経営基盤強化施策が進展.

※レポート内の投資判断の表記は各社によって異なります

INDEX

1. 会社概要

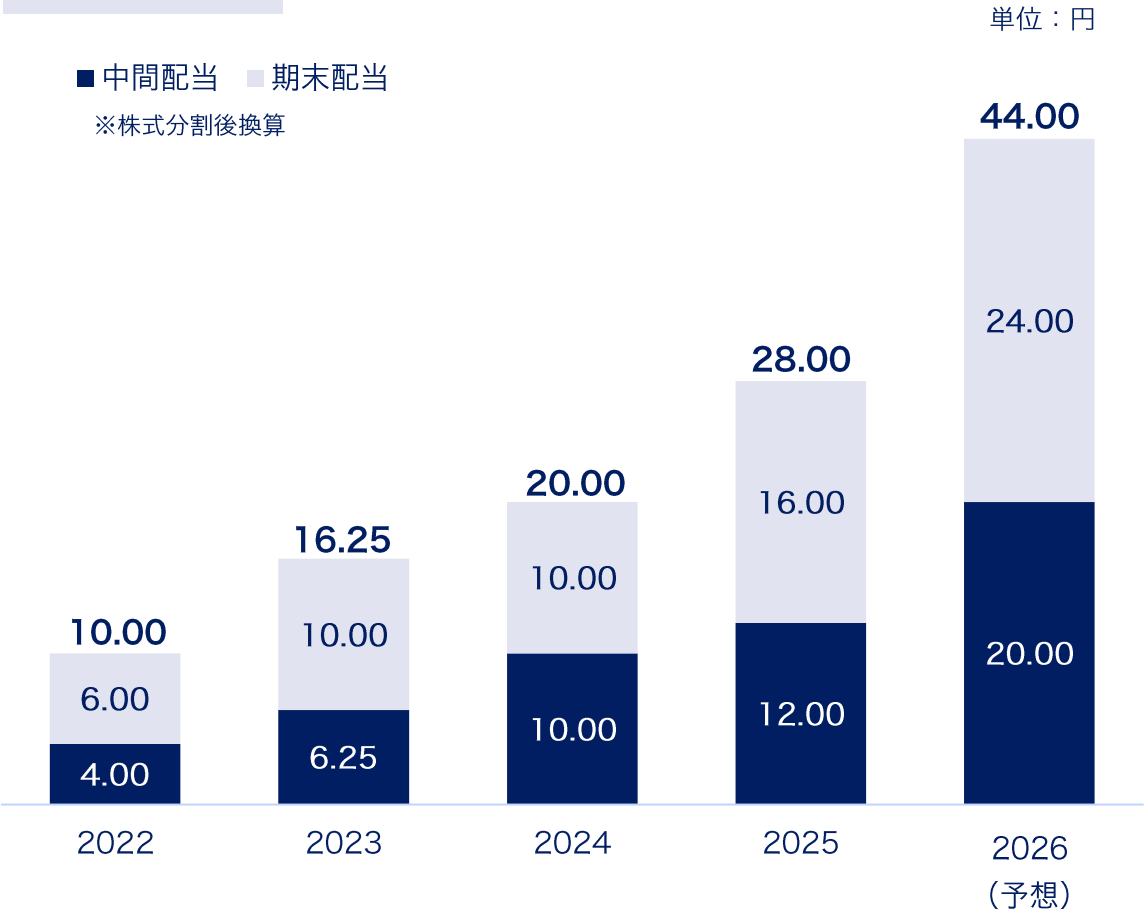
2. アシックスの業績と株価について

3. 個人投資家の皆様へ

株主還元について

- 株主の皆様に対する利益還元は、経営上の最重要課題のひとつ。
- 配当金についても累進配当を継続しており、2026年度の年間配当金は過去最高の44円を予想（第2四半期決算を受け、従来の38円から6円の増配）。
- 株主総利回り（TSR）は株価上昇と配当を含めた株主価値創出の指標であり、2018年初から12.9倍のリターンとなっている

配当金の推移



株主総利回り推移(8月14日時点)



株主優待

- 株式保有期間、保有株式数に応じた割引率で商品をご購入いただけます。アシックスオンラインストア、アシックスウォーキングオンラインストア、アシックス商事公式オンラインストア、オニツカタイガー公式オンラインストアにてご利用いただける電子チケットです。

【2026年6月30日時点の株主様向けの株主優待内容】

株主優待適用基準		株式保有期間	
		3年未満	3年以上
保有 株式数	100株以上 200株未満	20%割引 チケット10枚	
	200株以上 5,000株未満	20%割引 チケット10枚	30%割引 チケット10枚
	5,000株以上	40%割引 チケット10枚	

個人投資家様向けIR活動

- 2025年より、個人投資家様向けIR活動の量と質を抜本的に拡充。
- アシックスについて多面的な切り口からご紹介し、アシックスにより興味をもっていただけることを目指す。

1 個人投資家向け体験型IR説明会

全国で体験型の個人投資家様向けIR説明会を開催。
2025年は約2,000名がご来場。マネジメント
によるプレゼンテーション、ゲストスピーカー
との対談、シューズ試し履き、足形計測、
各種展示等を実施。
2026年も8都市で実施を予定

ご登録はこちらから！



参加者の声（抜粋）

- 経営陣の説明が丁寧でわかりやすく、これからの成長に期待を持てた
- 普段出来ない体験ができ、型通りではないところが良かった



2 IR BOOKの発行

個人投資家の皆様向けの会社概要説明資料。
アシックスの創業哲学や沿革に加え、近年の好調な業績を支える経営改革や
カテゴリー経営体制等を紹介。



IR BOOKはこちらから！



3 個人投資家様向けメール配信

決算報告、IRイベントの様子、おすすめの
ランニングコース等の様々な情報を動画と
ともにお届け。2025年は合計16通を配信。
2026年は新しいコンテンツも交え、多彩な
内容をお届け。



第5回 個人投資家向けIR説明会 in 神戸

|(ご参考) メール配信－IRチームからのお便り－

- 2024年10月より個人投資家向けのメールマガジンを配信
- 個人投資家のアシックスへの関心と理解を高め、ファン株主の拡大を図る

IRチームからのお便り (2026年5月号)

皆さま、こんにちは！

新緑が映える心地よい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか？

今回のお便りは、以下の二本立てでお送りします。

1. 2026年12月期 第1四半期決算のお知らせ

2. 個人投資家様向けIR説明会in札幌のご案内

1. 2026年12月期 第1四半期決算のお知らせ

本日、アシックスは2026年12月期 第1四半期決算を発表しました。

2026年は、「中期経営計画2026」の最終年度として、アシックスにとって非常に重要な一年となりますが、第1四半期は、そのスタ

ご登録はこちらから！



開始から2年弱で登録者数は約9,200名に (2026年6月30日時点)

2026年配信のメールテーマ (抜粋/予定含む)

配信日	テーマ
2026年1月	個人投資家向け体験型IR説明会 in 広島
2月	2025年12月期決算発表
3月	個人投資家向け体験型IR説明会 in 東京
4月	IR BOOK発行のお知らせ
	個人投資家向け体験型IR説明会 in 那覇
	インドネシアビジネスのご紹介
5月	2026年12月期 第1四半期決算発表
	Sound Mind, Sound Body特別号 (中嶋友里様編①)
6月	個人投資家向け体験型IR説明会 in 福岡
	インド駅伝・UK駅伝のご紹介
7月	個人投資家向け体験型IR説明会 in 札幌
8月	Sound Mind, Sound Body特別号 (吉田沙保里様編)
	2026年12月期 第2四半期 (中間期) 決算発表
	Sound Mind, Sound Body特別号 (中嶋友里様編②)
9月	個人投資家向け体験型IR説明会 in 仙台
10月	個人投資家向け体験型IR説明会 in 神戸
11月	2026年12月期 第3四半期決算発表
12月	個人投資家向け体験型IR説明会 in 名古屋



DISCLAIMER 将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。